

# 研修センター便り

発行 後志教育研修センター NO4 平成25年10月1日 TEL 0136-22-1337 FAX 0136-22-2681

## 童心を紐解くと・・・

朝夕を包む冷涼な空気に秋の深まりを感じます。研修講座は全29講座の内、道徳教育（11月6日 会場：岩内町立岩内中央小学校）と英語科2日目（11月29日 会場：仁木町立仁木中学校）の2講座を残すのみとなりました。この間、ご指導・ご協力・受講されました関係各位の皆様  
に心より厚くお礼申し上げます。



さて、最近終えた学習指導研修講座のこと。「学校から帰宅すると3歳になる子は、ほとんどの日、すでに寝ています。その付近には、おもちゃが置かれていることもあります。」と自己紹介で講師先生が話されておりました。そして、「今日はどんな言葉を言いながら遊んでいたのかな?」、寝入る我が子とその傍にあるおもちゃを手掛かりに、発したであろう言葉を類推するそうです。詩人である薄田泣菫（すすきだきゅうきん）氏は、随筆「艸木虫魚（そうもくちゅうぎょ）」に、「人の寝顔を見ると、いろいろな意味で自分を賢くすることができるものだ。」と書いています。

右上の写真をご覧ください。休日の遊園地で母親が撮ったものです。この日父親が仕事を終えて帰宅した時には、二人の子どもはすでに眠っていたそうです。父親は姉弟の傍にあった乗り物券を手掛かりに、「あれやこれや」と考え始めたということです。姉弟が乗った乗り物の順番を推論し、子どもとの共通な話題をつくろうと思ったみたいです。この場合にも薄田氏のお話が当てはまります。

学習指導要領の算数科における思考に係る目標に、「日常の事象について見通しを持ち、筋道を立てて考える。」とあります。先程の二人の父親は、我が子の寝顔とその傍にある具体物を手がかりに、共通点を見つけて類推したり、帰納的に推論したりするなどして問題解決を図ろうとしています。現在、これらの思考の方法は、ビジネスの世界においても欠かすことのできない解決法の一つとされています。寝顔などから童心を紐解く活動により、子どもと大人との共通な話題も増え、互いに賢さも増すはずです。明治から昭和の激動期に生きた薄田氏の言葉は、今も生きていることを実感します。

# 終了講座の講師名と講座風景を伝えます

(※**授**授業者) (※**外**外部講師)

## ★家庭科（講師：佐藤美知留・久米千勢、**外**小林きもの学院）

倶知安中学校の調理室、格技室等をお借りしました。

榊井校長をはじめ、皆様にご協力いただきました。



## ★組織マネジメント（講師：佐藤裕司・柿原 徹 ・加藤数馬京極町教育委員会学校教育指導主事）

## ★図書館教育（講師：佐藤淳子・加藤幸子、**外**安部尚登ビブリオ北海道理事

## ★算数・数学科 2 日目（講師：坂下賛匠・**授**秋田 匡・藤谷宏一指導主事）

古平小学校の 5 学年教室、会議室等をお借りしました。

野島校長をはじめ、皆様にご協力いただきました。



## ★社会教育（運営委員：山本将平・本間亨・丹場康雄・

青山智恵・五十嵐秀介社会教育指導班主査・**外**新保元康(札幌市立幌西小学校長)

## ★社会科（**授**高橋大樹・**授**田村 仁・田口範人指導主事）

1 日目、蘭越小学校の 6 年 2 組と会議室等、2 日目は朝里中学校の 3 年 A 組と図書室等をお借りしました。巻礼子校長、福田信正校長をはじめ、それぞれの皆様にご協力いただきました。

## ★学習指導（講師：古館昭仁・阿久津 誠・**授**川本真央）

黒川小学校の 5 年 1 組教室、会議室等をお借りしました。

巻敏弘校長をはじめ、皆様にご協力いただきました。



## これからの検証授業についてのお知らせ

調査研究部会における今後予定の検証授業についてお知らせします。

- ・ 10月30日（水） 寿都町立潮路小学校 4・5 学年 国語
- ・ 11月25日（月） 岩内町立岩内第一中学校 教科は未定です。